

2015
2/22(日)
16:00-18:00

ウクライナの文化や言語に触れて、親しんでみませんか？

ウクライナの夕べ

Український вечір
22 лютого 2015 року, початок о 16:00

横浜平和と労働会館
4階会議室

会員 1,500円 一般 2,000円
定員：40名(先着順)
お申し込み締め切り：2月19日(木)

通訳・お話 オクサーナ・ピスクノワ
Оксана Піскунова



ウクライナ出身。アルデーミフスク短期大学初等教育学部卒業。南ウクライナ国立教育大学児童心理学部卒業。1996年12月来日。語学学校、プライベートレッスンにてロシア語講師。1999年～2005年、NHKテレビ「ロシア語会話」出演。現在、NHKラジオ「まいにちロシア語」出演中。翻訳、通訳、ナレーションでも活躍。

第一部 16:00-16:40

ウクライナ紹介

お話：オクサーナ・スヴィスターク
通訳：オクサーナ・ピスクノワ

第二部 16:50-17:30

一人芝居「公爵の娘」

出演：ナターリヤ・モロゾフ
通訳：オクサーナ・ピスクノワ

第三部 17:30-18:00

茶話会

お話：オクサーナ・ピスクノワ

お話 オクサーナ・スヴィスターク
Оксана Свистак



ウクライナ西部・フメリニツキー市にて小学校教師を務める。現在、在日ウクライナ大使館員夫人。東京在住。

ウクライナのお菓子やお茶をいただきながら、楽しく語り合いたしましょう。ウクライナの歌、民族衣装の解説や試着コーナー、展示なども予定しています。お楽しみに！

一人芝居

「公爵の娘」

Княжна/Княжна

ウクライナの国民的詩人 タラス・シェフチェンコ詩集より

劇団「テチャ」ナターリヤ・モロゾフによる一人芝居
原作：タラス・シェフチェンコ『公爵の娘』『魔女』
構想：ナターリヤ・モロゾフ・シマダ
監督・音楽：ミコラ・ヤレムキウ（モロディ劇団）
美術、衣装：ミコラ・コスチュシコ、ヴォロディミル・カラシェウ
ンキー（モロディ劇団）
振付：セルヒー・シヴィドキー（イワン・フランコ劇団）

テーマは「愛」。公爵と身分違いの結婚をした村娘は奴隷扱い、暴力を受けて暮らしている。農民を苦しめて日々酒に溺れる夫を愛することはできないが、唯一の救いはもうすぐ生まれる赤ん坊。生まれた赤ん坊はやがて目に入れても痛くないほど可愛い女の子に成長するが、精神を病んだ母は屋敷を追われ、ジプシーと共にさまようことになる。「妄想」の中に娘を探し、守らなければと訴えるが、願いも叶わぬまま死んでしまう。一方、その娘「公爵の娘」は心のきれいな娘に成長し、村人に愛され、恵まれない人々に慕われていた。だがある晩、宴を開いていた公爵＝実の父親に犯されてしまう…。修道院に逃れた公爵の娘は、母や自分を苦しめてきた人たちのために祈り続けたが、間もなく神様のもとへ召される。（日本語訳：オクサーナ・ピスクノワ）



出演 ナターリヤ・モロゾフ
Наталія Морозова



ウクライナ・リヴィウ市出身。舞台・映画俳優、詩人。主な出演作品：映画「明日は明日」「湯いた大地」（札幌映画祭受賞）「調査の螺旋」など。舞台「トイレはごちら」（日本ウクライナ文化交流月間/劇団テチャ）「I cannot imagine tomorrow」「幸せ泥棒」「Mukhtarの帰還」「公爵の娘」（タラス・シェフチェンコ詩集より構想）。

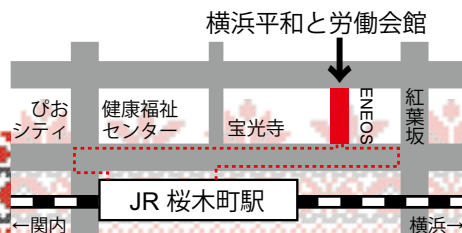
主催・お申し込み・お問い合わせ

NPO法人

神奈川県日本ユーラシア協会

Tel/Fax: 045-201-3714

E-Mail: eurask2@hotmail.co.jp



【交通】JR・市営地下鉄桜木町駅より徒歩5分